

八百津町 人・農地プランアンケート結果

2020年3月31日回収締切分

八百津町内全体集計



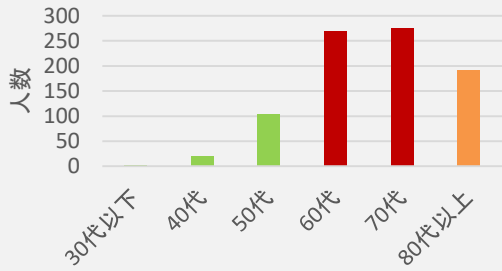
配布アンケート

配布枚数1,676枚

提出枚数 712枚

回収率 42.5%

回答者年齢



地域農業の将来に向けたアンケート調査票

本調査は概ね5～10年後の農業・農地についての状況を把握するためのものです。

この機会に是非ともご家族の皆様とご相談のうえ、ご回答ください。

【問1】主な耕作者に関することについてお答えください。

氏名・年齢 (歳)
住 所
電話番号

【問2】あなたのご家庭の農業形態について(1つに○を付けてください)

- 専業農家等(主な収入を農業で得ている)
- 兼業農家(主な収入を農業以外で得ている)
- 自給的農家(自家用農作物のみを栽培)
- 耕作していないが、農地を所有している

【問3】今後のあなたの農業経営及び農地について

- 拡大したい ⇒ 拡大したい面積 _____ (1a=100㎡=0.1反)
- 縮小したい ⇒ 縮小したい面積 _____ (1a=100㎡=0.1反)
- 現状のまま

【問4】農業の後継者、農地の引き受け手(売買・譲渡・賃借をする場合)の目的について

- 家族
- 集落営農組織
- 農業法人
- 地域の担い手農業者(認定農業者等)
- その他
- 目的はついていない、わからない

【後継者・引き受け手が家族以外の方は、その方のお名前をご記入ください】

【問5】所有または耕作する農地について、5～10年後にはどのようになっていると思いますか。

- 所有者(耕作者)が継続して耕作・管理
- 後継者が耕作・管理
- 売買・譲渡・賃借により他の方が耕作・管理
- 耕作条件が悪く、耕作放棄せざるを得ない
- 借りている農地を所有者に返還し、その後は未定
- 転用し、農地以外として利用

【問6】あなたの集落・地域の農業(人と農地)は、5～10年後どのようにになっていると思いますか。(複数回答可)

- 問題ない状態(耕作放棄地は増加せず、各世代の農業者によって持続的な農業が営まれている)
- 農地が利用されず耕作放棄地が増加する
- 地域を支える安定した経営体(個人・法人・集落営農)がない
- 若年の農業者が減少し、高齢化が一層進む

裏面へ

【問7】あなたの集落・地域の農業(人と農地)を持続していくために、どのような取り組みが必要だと思いますか。

- 地域での話し合いの場を設ける。
- 新たな地域の中心となる経営体(個人・法人・集落営農)の創出
- 農地を集積して、地域の担い手(認定農業者等)が中心となり、農業を活性化する。
- 新たな農業者の地域への就農
- その他
- 特に何もする必要はない(現状のままで良い)

【問8】今後、5～10年のうちに、所有農地を貸し出したいという方は、その農地についてご記入ください。(貸し出したいくないという方は未記入でかまいません)

- 全部の農地を貸し出したい
- 一部の農地を貸し出したい(貸し出したい筆を下記にご記入ください)

地名・地番 (地番が不明な場合は、小字名まで記入してください)	面積(㎡)	どれかに○を付けてください			
		すぐにも	5年以内	10年以内	未定

(1a=100㎡=0.1反)

【自由意見】農業政策についてのご意見・ご希望などご自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。
下記の「個人情報取扱同意書」も一読いただき、ご記入をお願いいたします。

個人情報取扱同意書

人・農地プラン実質化に向けた調査に係る個人情報の取扱いについて

八百津町は、「人・農地プラン実質化に向けた調査」の実施に際して得た個人情報について、「個人情報保護に関する法律(平成15年法律第57号)」及び関係法令に基づき、適正に管理し、本事業の実施のために利用します。

また、本事業による集落等の合意形成や検討会での審査・検討、国への報告等で利用するほか、関係機関に必要最小限度内において提供する場合があります。

私は上記のとおり記載された内容について

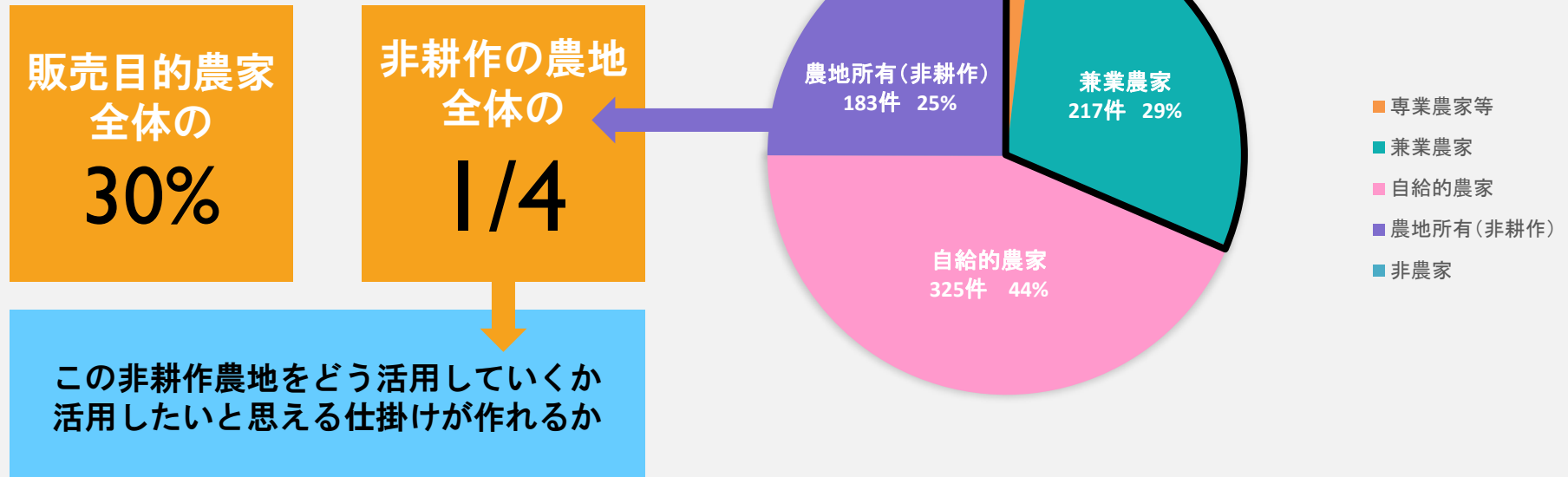
同意します ・ 同意しません (左記のどちらかに○をつけてください)

令和 年 月 日

問2.ご家庭の農業形態について

回答選択肢

1. 専業農家等（主な収入を農業で得ている）
2. 兼業農家（主な収入を農業以外で得ている）
3. 自給的農家（自家用農作物のみを栽培）
4. 耕作していないが、農地を所有している
5. 非農家（以前農地を借りて営農していたが、今は返還し営農していない）



問3. 今後のあなたの農業経営及び農地について

回答選択肢

1. 拡大したい
2. 縮小したい
3. 現状のまま

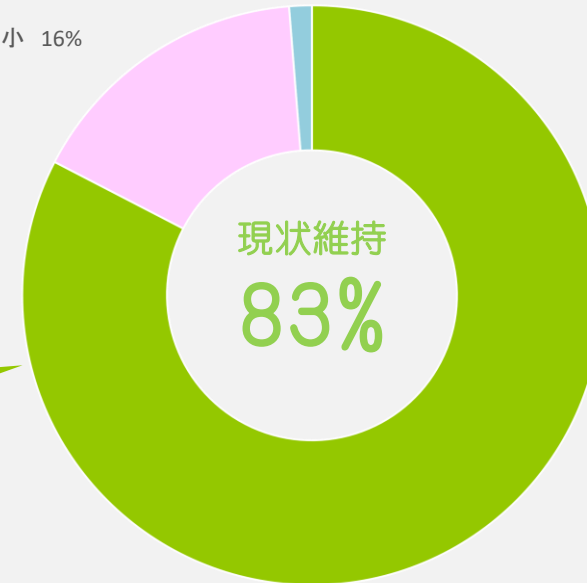
担い手不足、
従事者高齢化
などの影響

縮小or
現状維持と回答
99%

現状維持と回答した人についても、
ほとんどは家族に引き継ぐことを期待（問4参照）

今以上に若年層が就農に興味を持つ環境を
つくることが課題

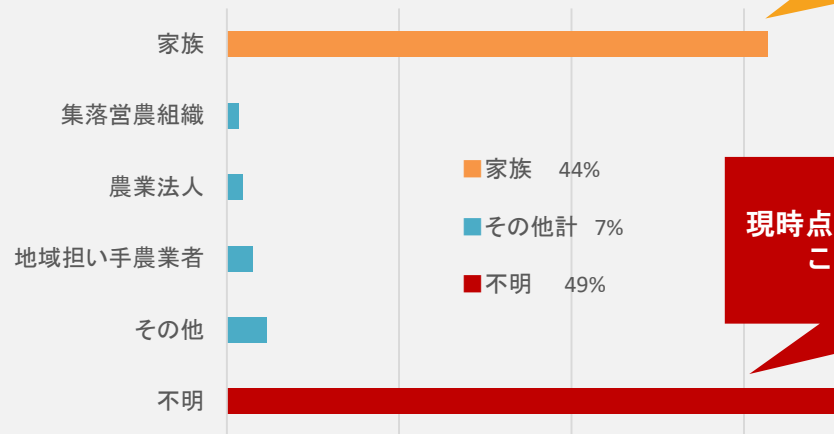
■ 拡大 1%
■ 縮小 16%



問4.農業の後継者、農地の引受け手の目途について

回答選択肢

1. 家族
2. 集落営農組織
3. 農業法人
4. 地域の担い手農業者（認定農業者等）
5. その他
6. 目途はついていない・わからない



概ねは家族へ引き継いでいくとの回答

現時点で「不明」が半数を占めており、これが耕作放棄地へとなり得る

①後継者問題の解決には、**地域での担い手が増える**ことが必要

②今後、耕作放棄地が増えていった場合、その土地をどう活用するかが課題

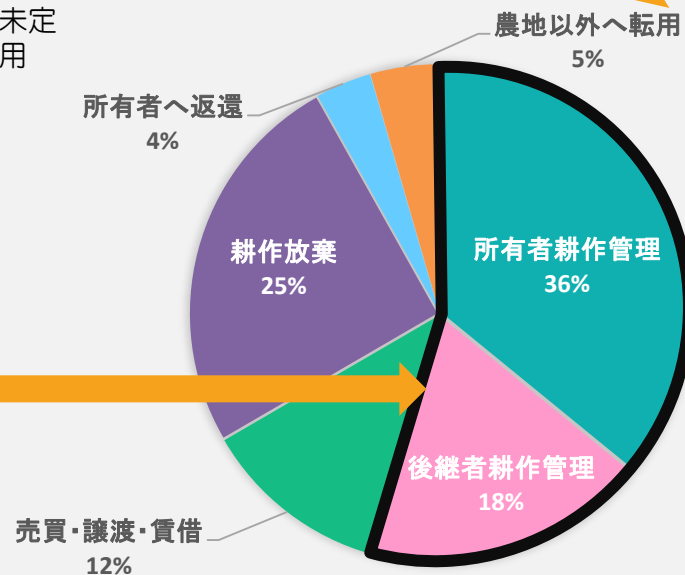
③意見を出し合う場の
設立が必要

問5.所有または耕作する農地は5～10年後どうなっていると思うか

回答選択肢

1. 所有者（耕作者）が継続して耕作・管理
2. 後継者が耕作・管理
3. 売買・譲渡・賃借により他の方が耕作・管理
4. 耕作条件が悪く、耕作放棄せざるを得ない
5. 所有者に返還し、その後は未定
6. 転用し、農地以外として利用

受け手が確保されており、耕作が続くと予想したのは
半数程度



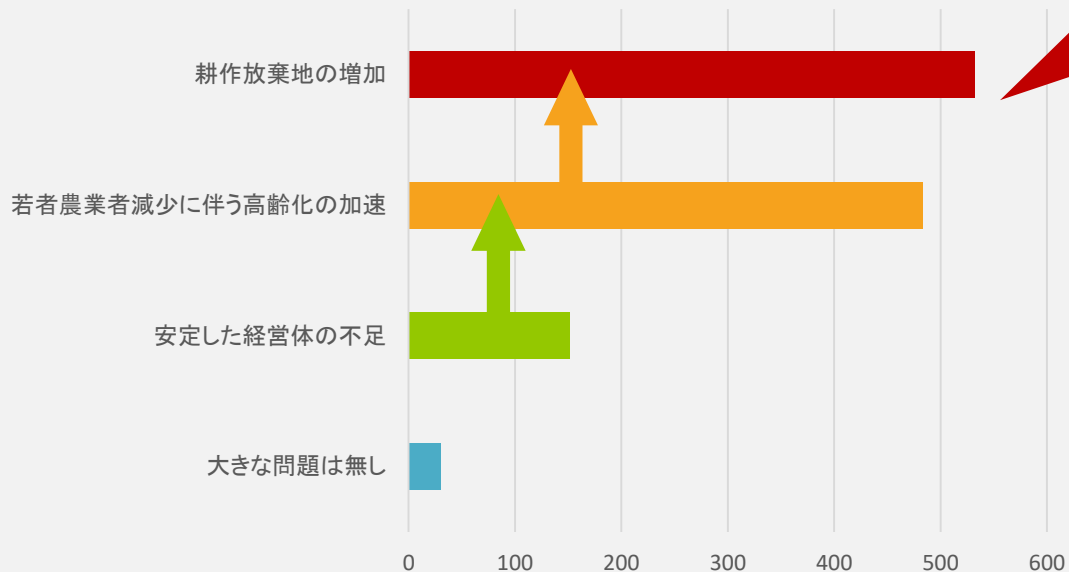
転用を考える人は
少ない

宅地化して若年層が
移住する見込みも低い

問6.あなたの集落・地域の農業は5~10年後どうなっていると思うか

回答選択肢

1. 問題ない状態（耕作放棄地は増加せず、各世代の農業者によって持続的な農業が営まれている）
2. 農地が利用されず耕作放棄地が増える
3. 地域を支える安定した経営体（個人・法人・集落営農）がない
4. 若年の農業者が減少し、高齢化が一層進む



一番大きな懸念は「耕作放棄地の増加」、
次いで「農業従事者の高齢化加速」

■「安定した経営体の不足」を解決すれば
農業者の不足に歯止めがかかる

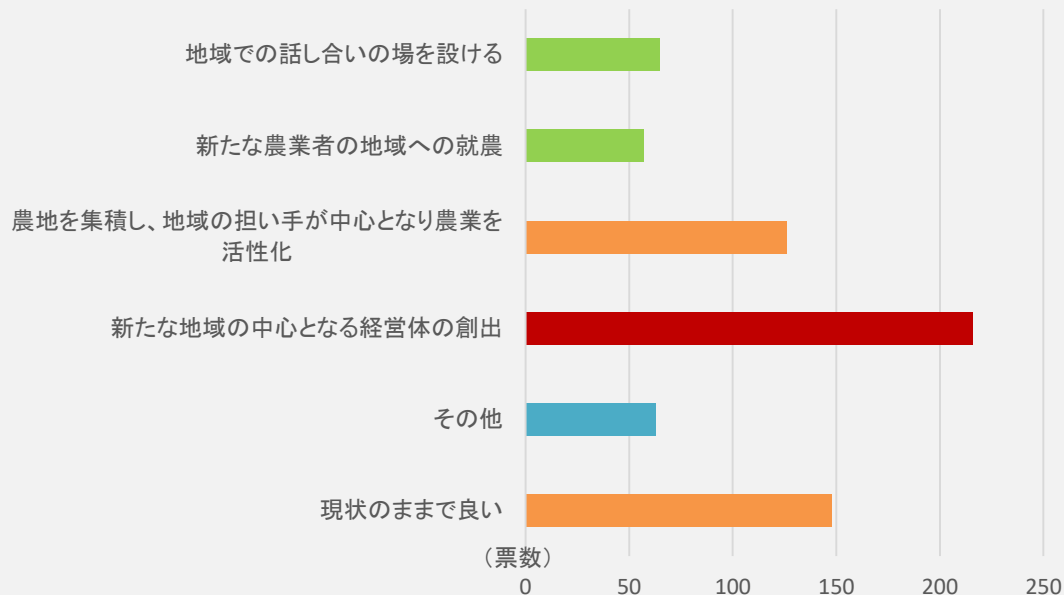
■農業者の不足に歯止めがかかれば
耕作放棄地の増加の速度が緩まる

課題が一連に繋がっているため、
まずは地域を支える経営体の創設・確保！

問7.あなたの集落・地域の農業を持続していくために、 どのような取り組みが必要だと思うか

回答選択肢

1. 地域での話し合いの場を設ける
2. 新たな地域の中心となる経営体（個人・法人・集落営農）の創出
3. 農地を集積して、地域の担い手（認定農業者等）が中心となり、農業を活性化
4. 新たな農業者の地域への就農
5. その他
6. 特に何もする必要はない（現状のままで良い）



新たな経営体の創出

- ・若年層の就農が現実的に厳しいため、団体や法人の介入が不可欠

農地を集積・担い手発掘

- ・農地を集積しまとめることで、地域一丸となって助け合いやすい

現状のままで良い

- ・現場はこの意見が多いのも事実
- ・ただし回答者が高齢になるほど「現状のままで良い」との声は小さくなる傾向がある

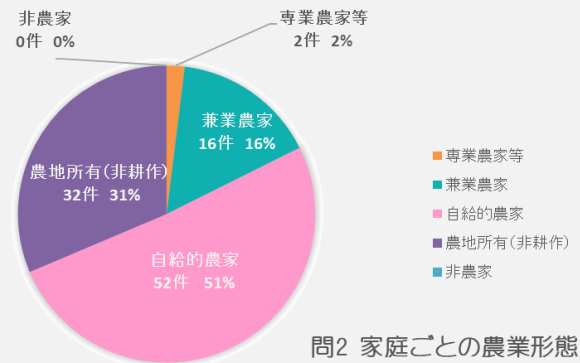
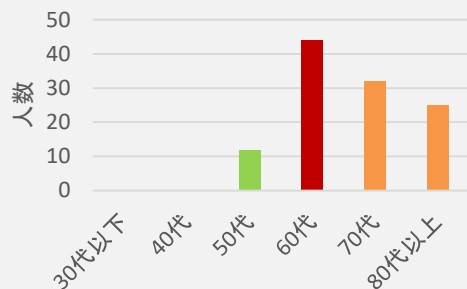
（資料）地区別アンケート結果

八百津、錦織、伊岐津志、
野上・和知、上飯田・上牧野、
久田見、上吉田、福地、潮見・南戸
計9地区



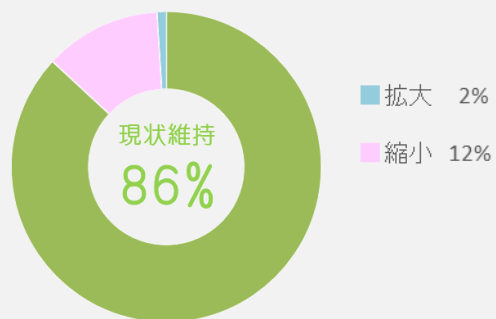
八百津地区

回答者年齢

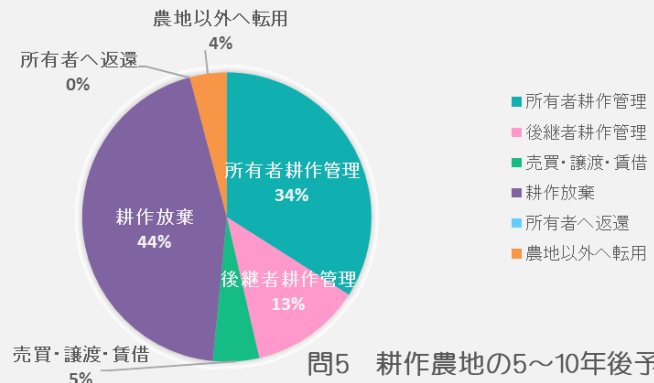
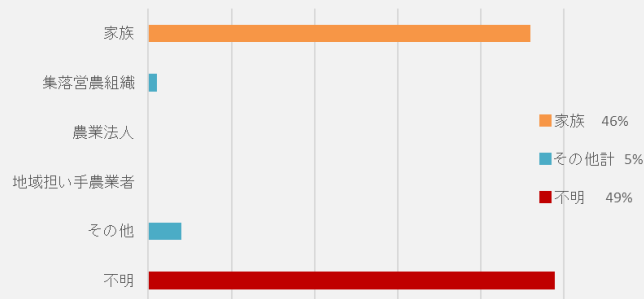


問2 家庭ごとの農業形態

問3 今後の農業経営及び農地について

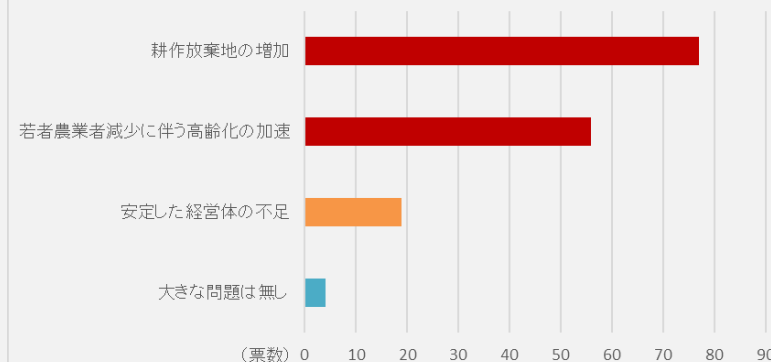


問4 農業後継者・農地引き受け手について

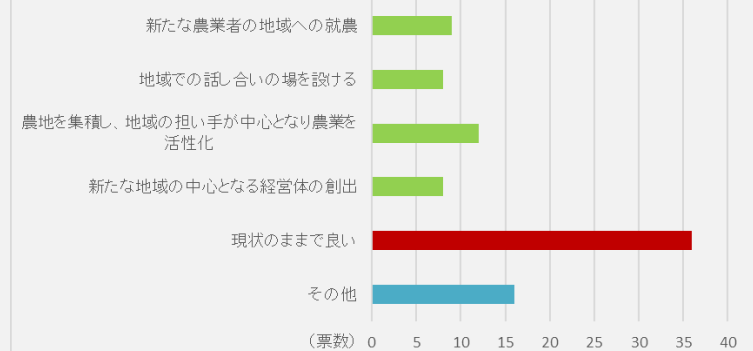


問5 耕作農地の5～10年後予想

問6 集落・地域農業の5～10年後予想

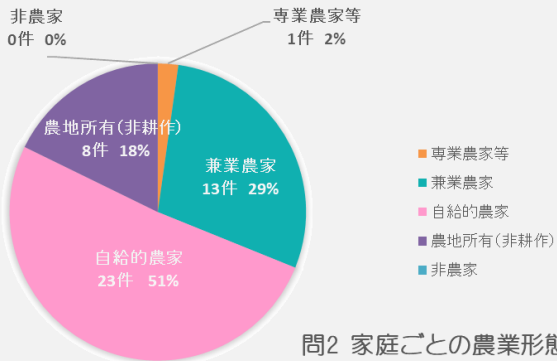
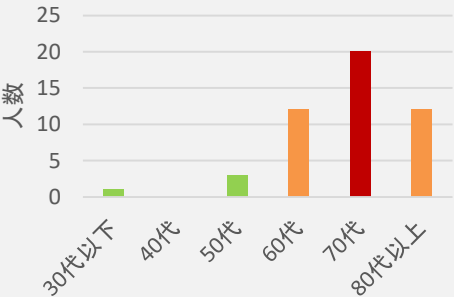


問7 集落・地域農業の持続のため必要な取り組み



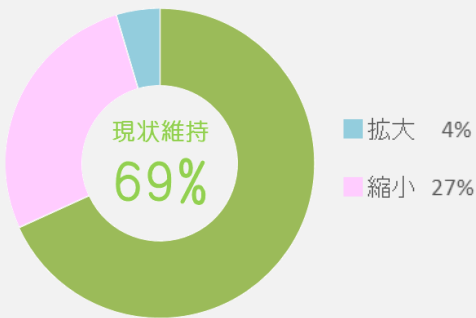
錦織地区

回答者年齢

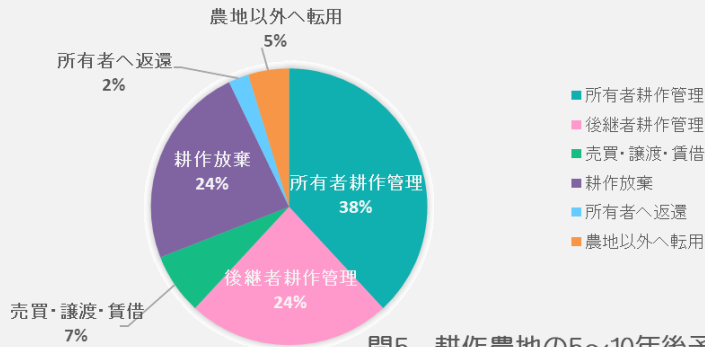
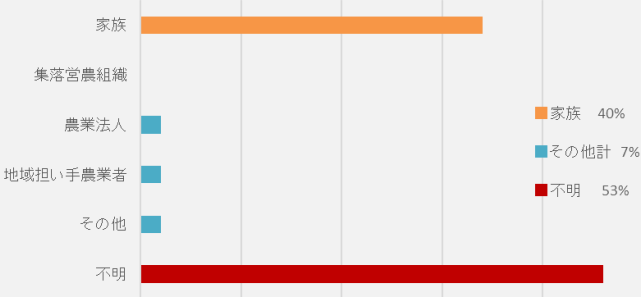


問2 家庭ごとの農業形態

問3 今後の農業経営及び農地について

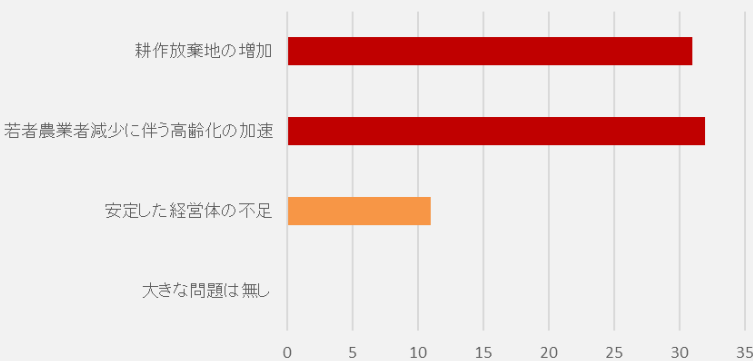


問4 農業後継者・農地引き受け手について

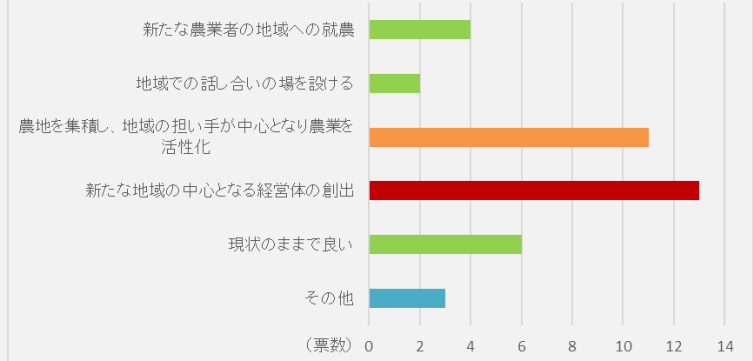


問5 耕作農地の5～10年後予想

問6 集落・地域農業の5～10年後予想

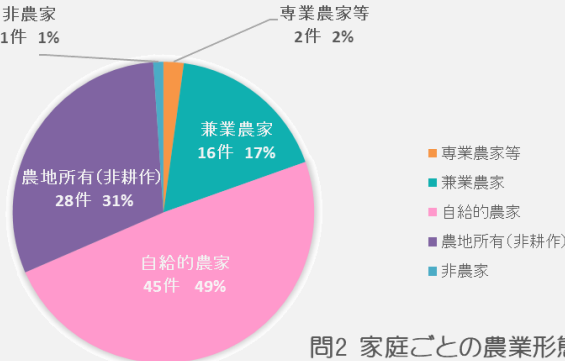
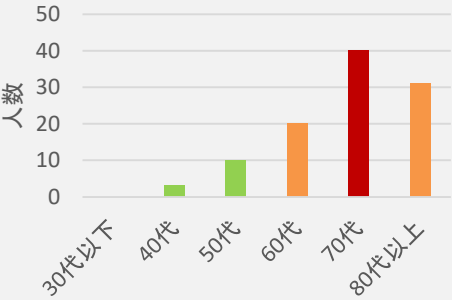


問7 集落・地域農業の持続のため必要な取り組み



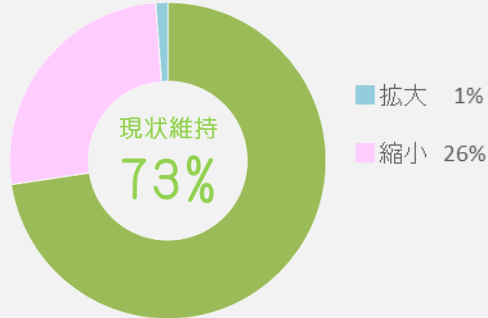
伊岐津志地区

回答者年齢

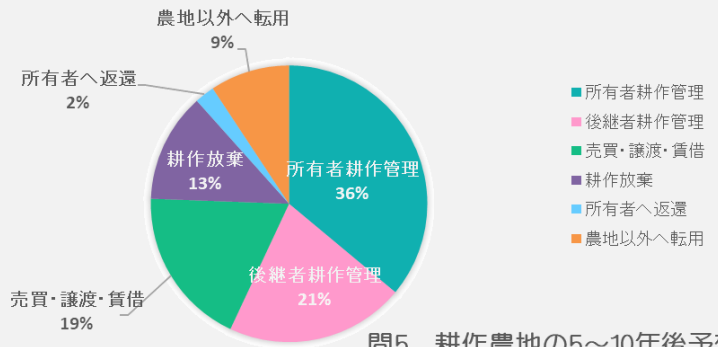
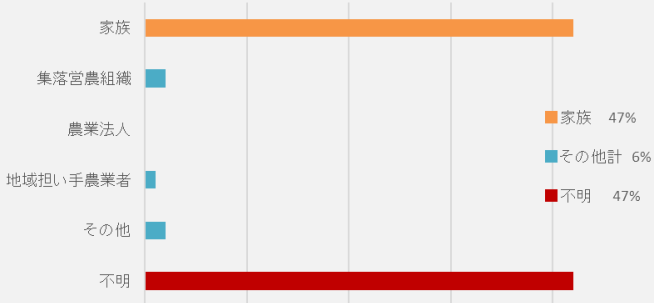


問2 家庭ごとの農業形態

問3 今後の農業経営及び農地について

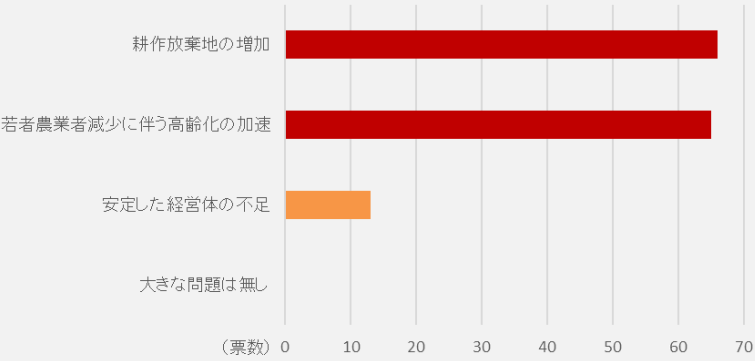


問4 農業後継者・農地引き受け手について

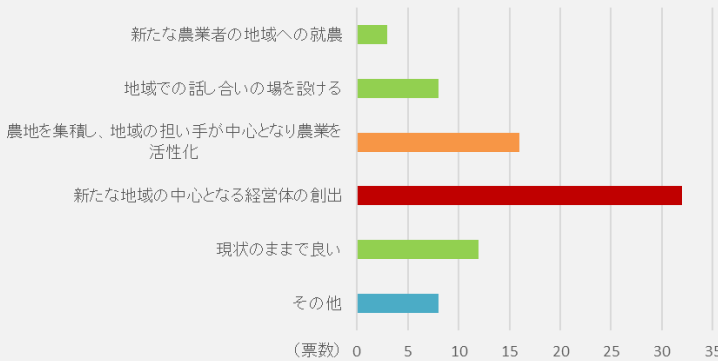


問5 耕作農地の5～10年後予想

問6 集落・地域農業の5～10年後予想

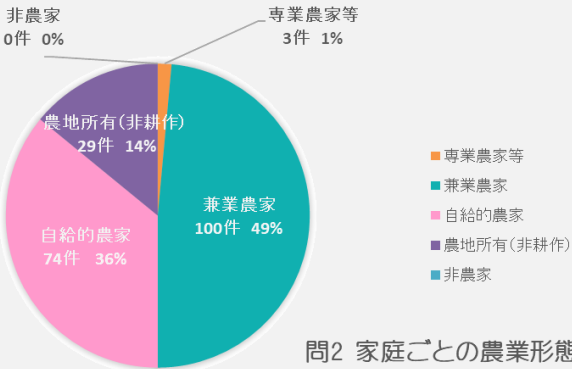
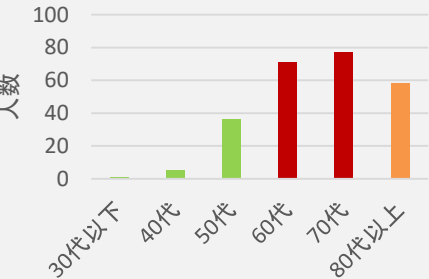


問7 集落・地域農業の持続のため必要な取り組み



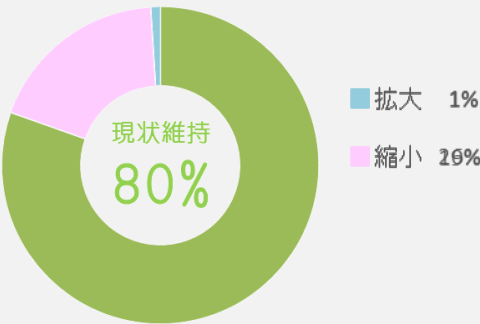
野上・和知地区

回答者年齢

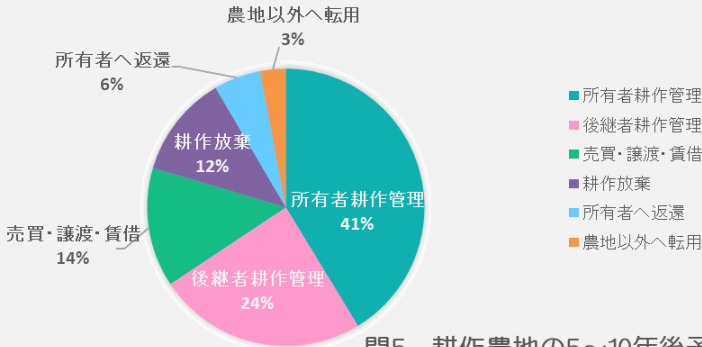
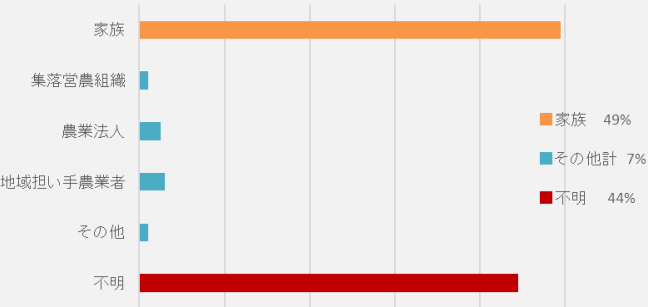


問2 家庭ごとの農業形態

問3 今後の農業経営及び農地について

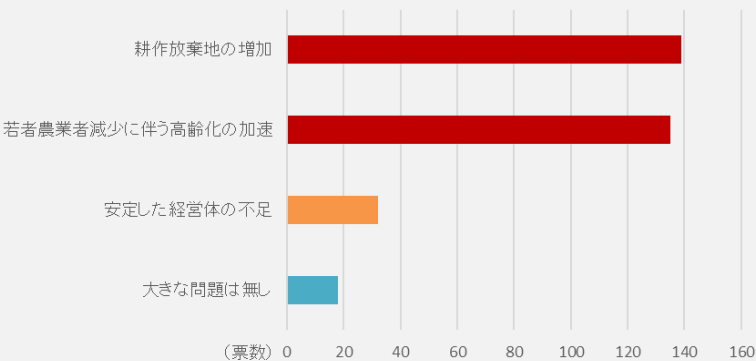


問4 農業後継者・農地引き受け手について

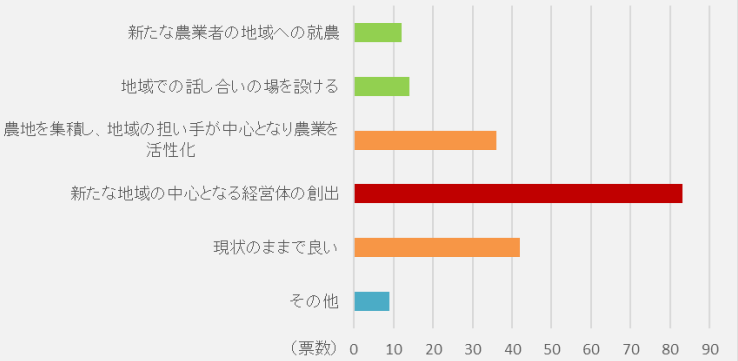


問5 耕作農地の5～10年後予想

問6 集落・地域農業の5～10年後予想

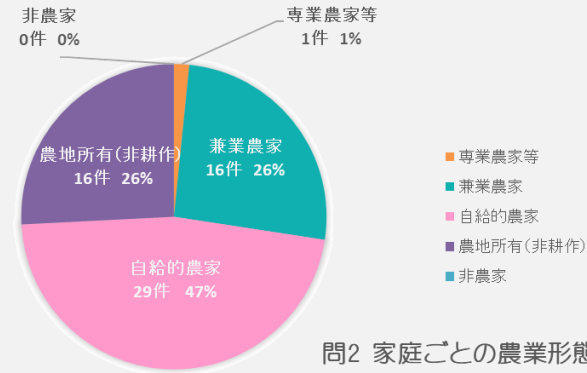
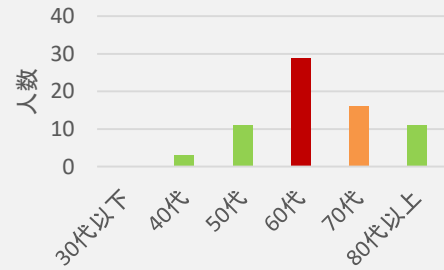


問7 集落・地域農業の持続のため必要な取り組み



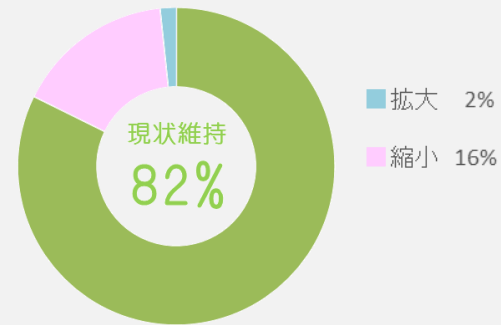
上飯田・上牧野地区

回答者年齢

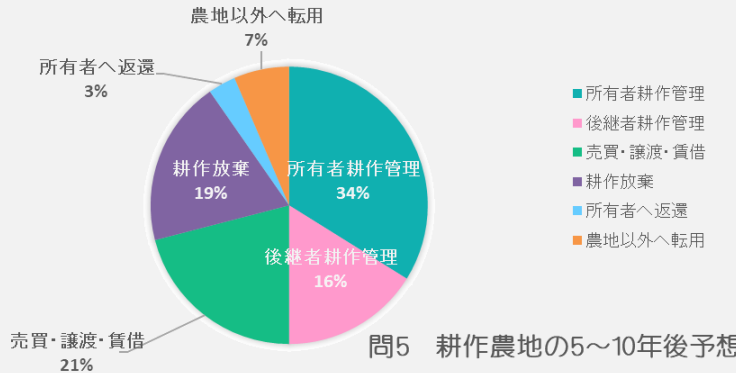
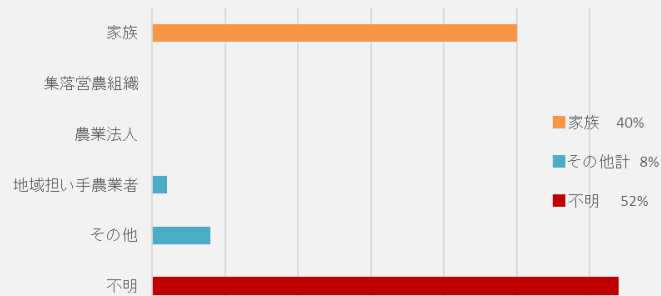


問2 家庭ごとの農業形態

問3 今後の農業経営及び農地について

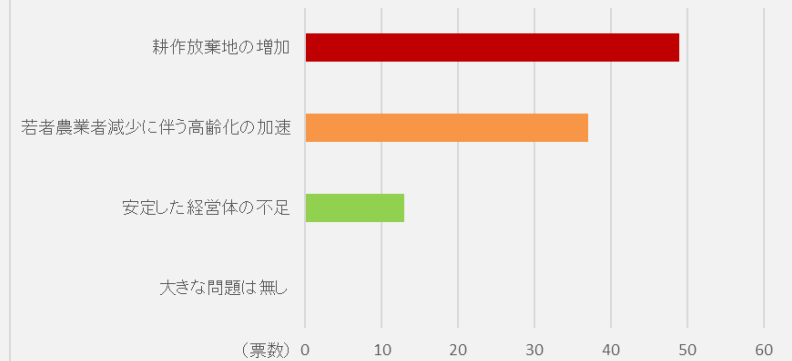


問4 農業後継者・農地引き受け手について

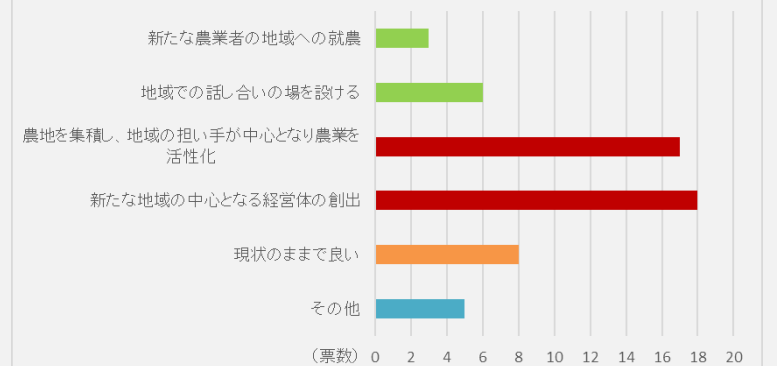


問5 耕作農地の5～10年後予想

問6 集落・地域農業の5～10年後予想

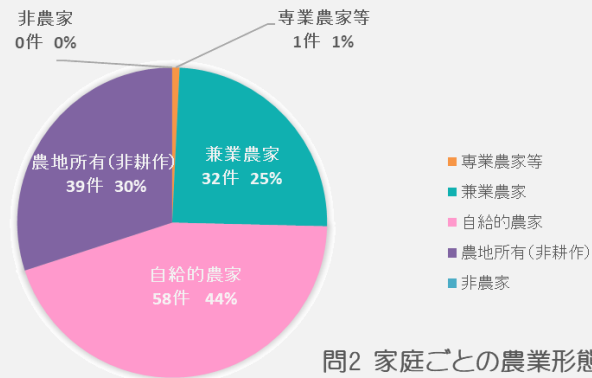
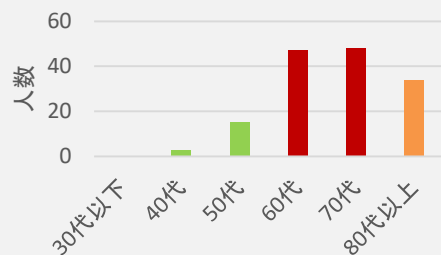


問7 集落・地域農業の持続のため必要な取り組み



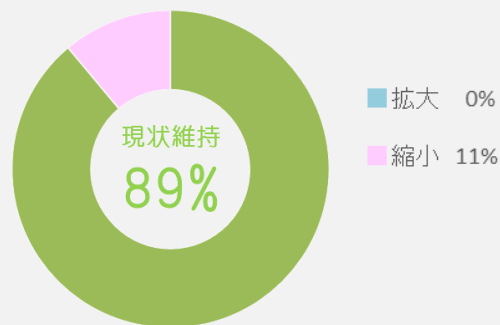
久田見地区

回答者年齢

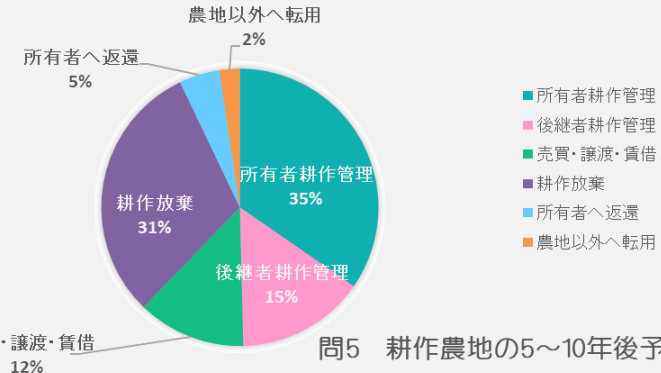
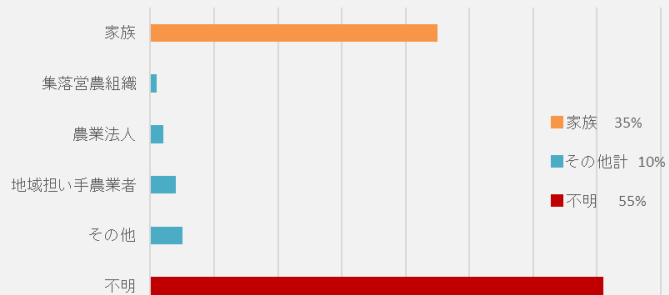


問2 家庭ごとの農業形態

問3 今後の農業経営及び農地について

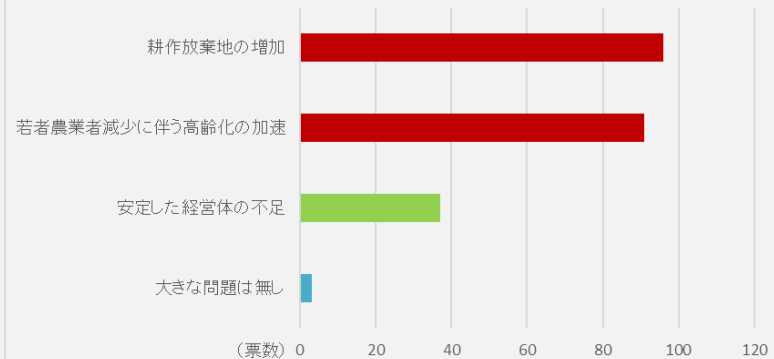


問4 農業後継者・農地引き受け手について

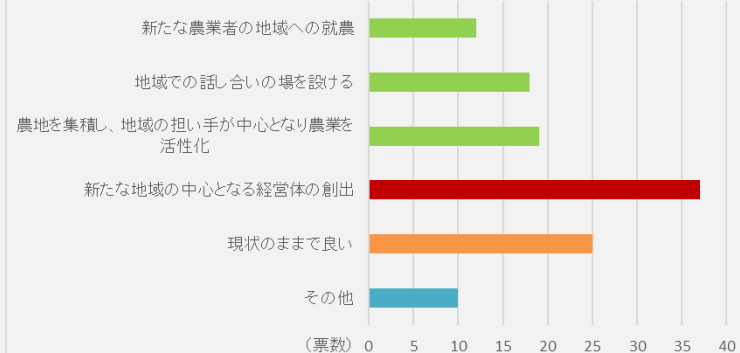


問5 耕作農地の5～10年後予想

問6 集落・地域農業の5～10年後予想

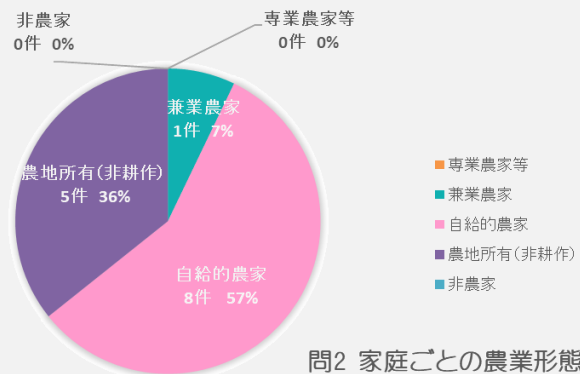
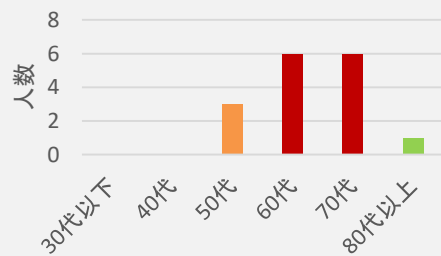


問7 集落・地域農業の持続のために必要な取り組み



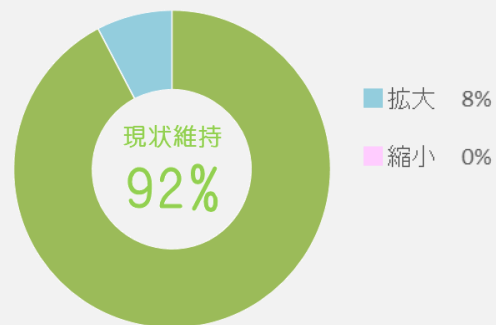
上吉田地区

回答者年齢

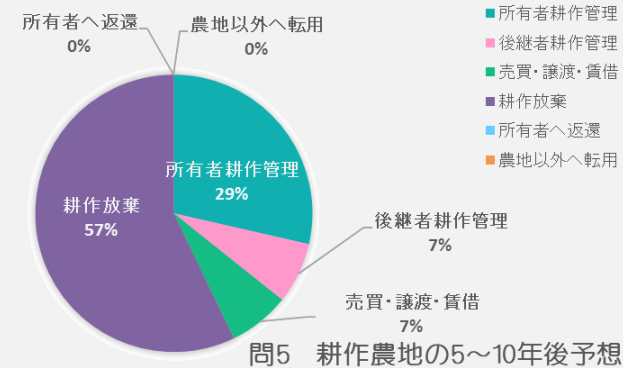
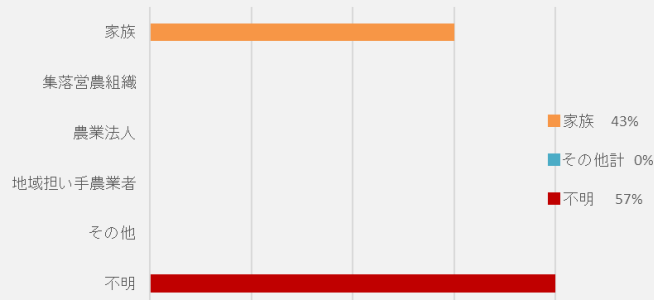


問2 家庭ごとの農業形態

問3 今後の農業経営及び農地について

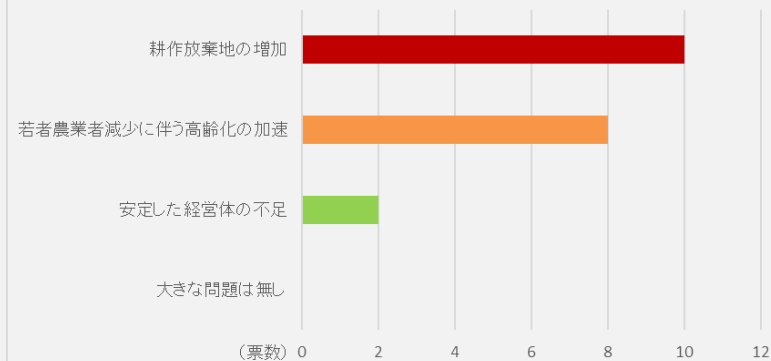


問4 農業後継者・農地引き受け手について

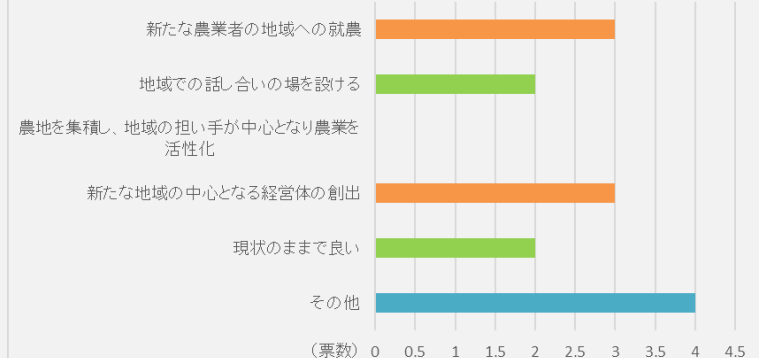


問5 耕作農地の5～10年後予想

問6 集落・地域農業の5～10年後予想

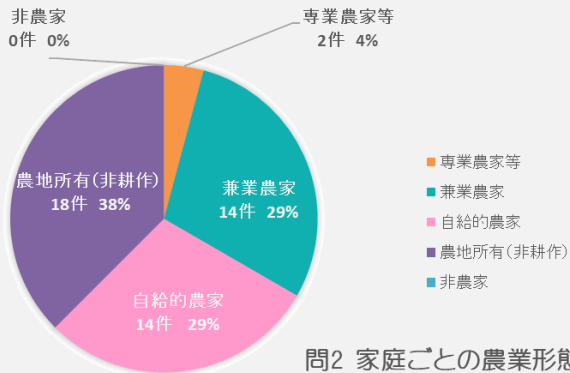
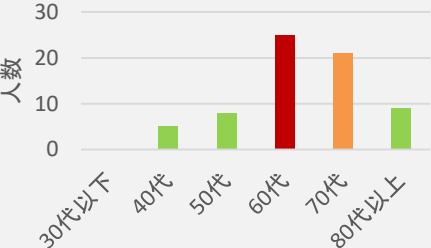


問7 集落・地域農業の持続のため必要な取り組み



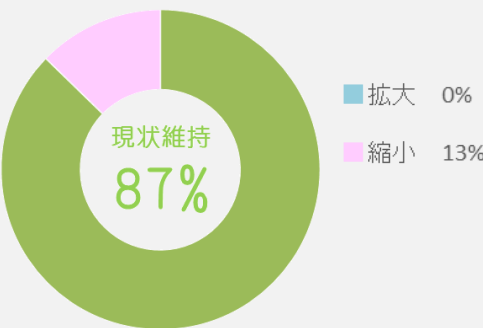
福地地区

回答者年齢

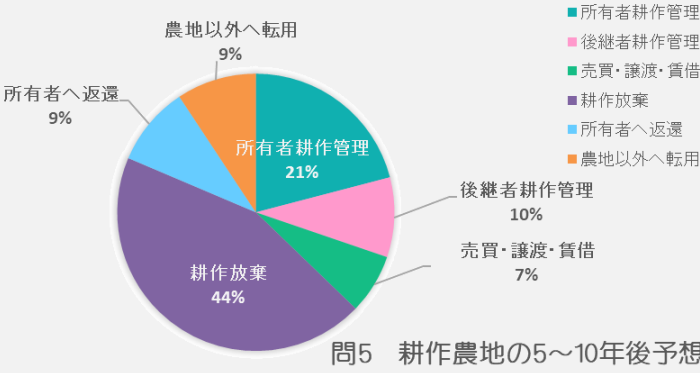
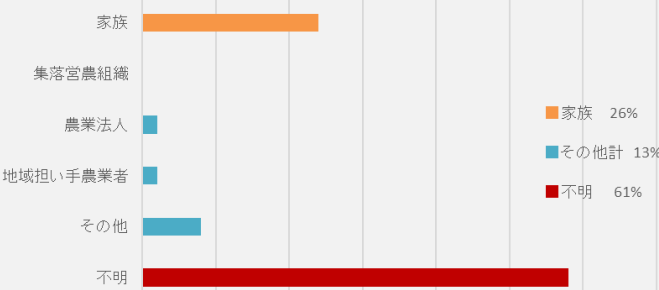


問2 家庭ごとの農業形態

問3 今後の農業経営及び農地について

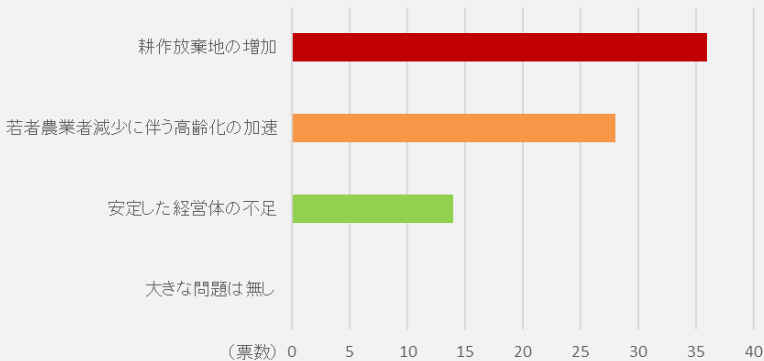


問4 農業後継者・農地引き受け手について

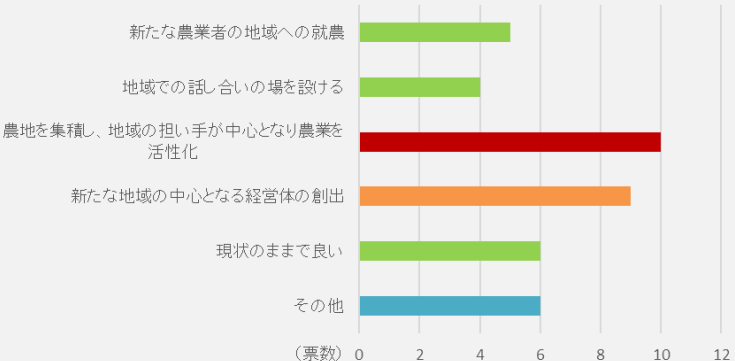


問5 耕作農地の5～10年後予想

問6 集落・地域農業の5～10年後予想



問7 集落・地域農業の持続のため必要な取り組み



潮見・南戸地区

